研究機関：広島大学

研究課題名	慢性腎臓病においてクロールが血圧ならびに尿蛋白に与える影響の検討
研究責任者名	広島大学病院　腎臓内科　教授　正木崇生
研究期間	2019年4月2日（倫理委員会承認後）～　2024年3月31日

対象者

2011年4月～2019年3月の間に、高クロール血症を合併し、広島大学病院腎臓内科で少なくとも半年間は慢性腎臓病の治療を受けられた患者。

意義・目的

高血圧や尿蛋白は慢性腎臓病の発症や進展の危険因子であることが明らかになっています

[redacted]

その機序の1つとして、腎臓におけるクロールの再吸収が高血圧の発症・維持ならびに腎障害の一旦を担っている可能性が指摘されていますが、その詳細についてはまだ解明されていません。

[redacted]